

## 2016年度 校長会との懇談記録

日時 2016年12月20日（火）17時30分から  
場所 味岡中学校中会議室  
参加者 校長会 横井校長会会長・前原教員会会長・大森校長会副会長・舟橋校長会副会長・  
石川校長会庶務・安藤校長会庶務補佐（記録係）  
市教労 大久保（執行委員長）・松田（書記長）・百瀬（会計委員）  
石田・岩脇（記録係）

### 1 はじめのことば（全体司会 校長会）

### 2 あいさつ

#### （1）横井校長

年末の忙しいなか集まっていたいただき感謝している。  
この懇談を通して教育現場の課題など情報交換できるとよい。

#### （2）大久保委員長

立場の違いはあるが、教員・子ども双方にとって良い環境を整えたいと思う気持ちは同じである。愛知県教委も教員の多忙化解消プランを3月までに出す予定であるが、本日の懇談においても良い教育環境になるよう話し合っていきたい。

### 3 懇談（司会 組合）

#### 長時間労働縮減に関わること

#### ①在校時間縮減の手立て（とりわけ、部活動の縮減策）

組合 教員の長時間労働のネックになっているのは部活指導だと文科省も言い始めたところである。部活がなくなればもっと本務に手がかけられるようになる。ところが、それに逆行するようにこの秋、小学校ではバスケットの大会（市民体育大会）が増えた。教職員の多忙化を考えると学校サイドとして断るべきではないか。

校長会 （市民体育大会のバスケの部の参加枠を小学生にも拡大することに関する）協会側からの相談は、校長会にはなかった。突然のことであつたので、学校毎の判断で参加を決めた。担当教員の熱意、子どもや保護者の試合に出たい（出させてやりたい）という気持ちを考えると、参加・不参加の判断は悩ましいところである。

校長会 せっかくジュニアクラブシステムを作ってきたのに小牧では活用しきれてないのが残念。他地区では教員が関わってないところもある。そういう状況になってくれるとよい。

組合 学校単位でなくても参加できるし、教員の多忙化を食い止めるためにも校長のリーダーシップで歯止めをかけるべきである。

#### ②すべての学校に勤務時間外の在校時間が分かる在校時間記録簿の設置

校長会 （はみ出し時間の分かる在校時間）記録簿の様式が学校によってバラバラで、計算式

も違っている状況。役員会でも校長会でも話題になっている。これだけ突っ込んだ議論は初めてである。どんなシートがよいか現在検討中である。

③「日常の勤務における割り振り変更簿」の設置

組 合 県は設置するよう指導している。小牧市は以前はあったのに今はなくなっている。作るべきではないか。

校長会 (超過勤務には) 管理職が「早く帰りましょう」とか非常に気を遣っている。

④休憩時間及び勤務時間外の部活動指導の割振り

組 合 勤務時間外の部活はボランティアだと言われているが、実際には勤務である。少なくとも休憩時間中の部活指導は割り振りされるべきである。

⑤職場における多様な勤務形態の教職員の勤務時間の全職員への明示

組 合 職場によっては職種ごとの勤務時間が文書で提示されている学校がある。全市的に文書による明示があるとよい。

⑥再任用(ハーフ)職員の勤務時間の適正な割振り及び運用

組 合 ハーフ再任用同士で情報交換をし合ったところ、中には教科を持って評価しているため決められた勤務時間内にはとても仕事が終わらないというケースがある。再任用ハーフは評価の必要な教科は持たせないなど勤務の基準はないのか。

校長会 中学校では1教科を二人で持ってもらわないといけない場合などは当然評価も必要になってくる。実情によって違うので一概に決められない。

組 合 校長会としてある程度の線を決める必要はないのか。中には1週間に16コマ授業を持っているため教材研究や事後処理は時間外や持ち帰り仕事になっているという話も聞く。

校長会 本校(中学校)でも別々の教科だが二人の再任用ハーフがいて評価もしている。各12コマの授業を持っている。

組 合 昨年度は16コマパンパンに授業を持っている例があったが、今年度はどうなっているか。

校長会 16コマは厳しいでしょう。今年度は(16コマ持っているケースは)ないと思う。

2. 労働安全衛生体制の確立に関すること

①療養休暇・「子の看護休暇」・短期介護休暇等の休暇取得をしやすく

組 合 ほとんどの教員が上記の休暇を時間単位で取れることを知らない。とりやすくすることが大事。年休・特休処理簿と一緒に綴じておくことで意識が高まる。他地区ではそのようにしている所もある。簡単にできることなので小牧市もぜひ実現してほしい。

校長会 一緒に綴じてはないがそのような休暇があることをその都度紹介している。個々に綴じる必要性は感じていない。

②アスベストの存在と安全対策の職員と地域・保護者への周知

組 合 古い学校はどこも飛散防止工事はしているもののアスベストが存在する。今後震災

などで学校が避難場所になる可能性もある。また、大規模工事などで飛散する可能性もあるので、不安をかきたてる必要はないが、アスベストの存在と対策を周知し、地域や保護者に理解しておいてもらう必要はないのか。

校長会 市教委がアスベストの存在箇所を図面に落として今年各学校に配ったが、それは業者が厳密に調査したというものではなく、現職員が申請したものに基づいているので正しいとは言い切れない。また、校舎を造った時の図面には「アスベスト使用」については触れられていない。信憑性がないものなので周知することはかえって不安をおおることになる。

### ③男女別休養室の整備状況

組 合 昨年度と比較して進展はあったか。

校長会 毎年予算要求を出しているが進展はない。

組 合 一宮では市に予算措置要求を出した1校にのみ休養室が実現した。

## 3. 教育予算に関わること

### ①全特別教室へのエアコン整備

組 合 中学校は昨年冬から使っている。小学校は最初の計画では本年度から使える予定だったが、この冬休みから工事に入るとのことだ。校長会は特別教室についてはどのような要望を出しているのか。

校長会 最初は全教室にエアコンをと要求したかったが、小学校に設置されていない時期の要求であったので、小学校の普通教室に確実に設置してほしいという要望にした。新設校には音楽室にもエアコンがついている。また、近隣からの騒音苦情を考慮して後付けで設置した学校もある。校長会としては普通教室への設置状況をみてから次の要求へと進める。

### ②プール清掃の業者委託

校長会 昨年度他市の実施状況を紹介してもらった。「必要ない」とは言わないが、現場からの声待ち状態である。もう少し声が上がれば要求項目に入れる。近い将来要望するに足る要求項目だと思っている。最優先はエアコン。

## 4. 全国学力テスト実施にむけて事前対策の有無

校長会 事前対策は一切していない。

## 5. 道徳と英語の教科化に向けての対応

校長会 「英語教育推進委員会」が各学校で夏休みに教員の研修を行った。

組 合 犬山市では、市単独で資格を持った専任教員を配置するよう要求している。英語を教科化するならば国が専科教員を配置するべきだと思うが、そうならなかった場合は県・市に専科教員配置を要望した方がよいのではないのか。

校長会 今は次期学習指導要領がどのようなものかわからない状態。このような状況では要望の根拠がない。また、英語の専科配置を要求すれば他の分野が削られるのではないか心

配である。

組 合 （道徳の教科化に関して）児童・生徒の内心の評価をするのは難しいと思う。

校長会 　　どんなものが出てくるか注視している。

#### 6. 小牧市とJAXAとの協定締結についての見解

組 合 　　国内での様々な状況からみて軍事産業や自衛隊との関わりが心配される。実際、東京でJAXAの展示会があったが、軍事産業や航空自衛隊が関わっていた。

校長会 　　小牧市はクーマ（KU-MA）が平成21年度からジュニアセミナーで宇宙の学校を実施している。理科の教材として授業に取り入れたいと思うような魅力的なものがあるなど注目しているが・・・。

組 合 　　JAXAは軍事と結びつきの深いところだということを考慮に入れておいてほしい。

#### 謝辞

組 合 　　本日はありがとうございました。働き方が多様化している今日、保護者にもいろいろな人がいる。心と体のアンバランスを抱えている人が年々増えてきているように感じる。

学校教育の基本は「人」の育成。ある企業が子どもたちのために使ってほしいと言って小牧市に3億円の寄付をしたことが報じられていた。校長会も有効な使い道を要望してほしい。